



令和4年(2022年)4月22日(金)
広島市安佐動物公園 管理課長：与倉
担当：企画広報係 梅田、川田 ☎082-838-1111

本川で保護したオオサンショウウオが死亡しました。

令和4年(2022年)4月7日(木)に本川にて保護したオオサンショウウオが、4月22日(金)に死亡しました。

1. 保護の経緯

令和4年4月5日(火) 原爆ドーム前の元安川で当個体と思われる個体が発見される
令和4年4月7日(木) 平和公園西側の本川にて発見され、保護

2. 飼育時の様子から死亡まで

非公開のオオサンショウウオ繁殖施設にて観察を続け、一時はドジョウやアジの切り身を食べたり、脱皮をする状態が見られていた。しかし、4月19日には消化途中の魚を吐き、4月20日には全身が赤みを帯びてきたため、抗生剤等の治療を実施したが、4月22日の朝に死亡しているのを確認した。



死亡したオオサンショウウオ個体

3. 死因について

現在、解剖検査をして詳しく調査中です。

※ オオサンショウウオ

日本固有種で、生息域の東限は岐阜県、西限は大分県。四国では複数個所で発見されているが、自然分布かどうかは検討中となっている。産卵期は8月下旬から9月上旬で、1回の産卵行動は複数の雄と1頭の雌で行われ、雌は約500個を産卵する。ひとつの巣穴で複数回の産卵行動があれば、千個以上の卵を確認することもある。雄のなかで最も強い個体は「ヌシ」と呼ばれ、産卵前から巣穴を掃除して雌を待ち、産卵後も翌年1~2月頃まで巣穴にとどまって、卵や子ども(幼生)の世話をする。

開園時間 午前9時から午後4時30分まで(ただし、入園は午後4時まで)

入園料 大人510円、65歳以上・小人(高校生及び高校生相当年齢)170円、中学生以下無料
※65歳以上の適用には公的証明書が必要

休園日 毎週木曜日(ただし、祝日の場合は開園)